



佐世保中央ロータリークラブ週報

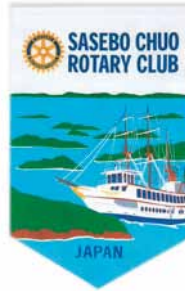
第2740地区 佐世保中央ロータリークラブ 創立：1990年9月29日 認証：1990年10月22日

■事務局住所：〒857-0872長崎県佐世保市上京町3-2セントラルホテル佐世保419号室 TEL.0956-25-5595 FAX.0956-25-3445 Mail.chuo-rc@theia.ocn.ne.jp

'10～'11年度クラブスローガン

会長：田雑 豪裕
副会長：西村 浩輝
幹事：南部 建

はばた
み
飛翔こう！ロータリー
観つめよう！ロータリー



RI.THEMA「地球を育み、大陸をつなぐ」



本日の出席 84.62%：会員数40名・出席32名・欠席6名・出席規定免除会員(2)1名・ビジター1名
前々回の修正出席率100%：出席29名・メイクアップ 9名・出席規定免除会員(2)0名



会長挨拶・田雑 豪裕君



皆さん、こんにちは！私は昨日まで台湾で開催されている台北国際花博覧会に、日本の造園業界の役員総勢50名程で行ってまいりました。この国際花博は造園のオリンピックのようなもので、日本では20年前に大阪で開催されたのを皆さんも記憶にあると思います。台湾では300億の予算を掛け、来場者800万人を予定しているようです。日本から技術指導の協力をした関係上、大学の教授なども同行し、地元の産・学・官との交流や施工中の現場見学などをいたしました。非常に勉強になりました。技術的には日本が断然進んでおりますが、生産の部分では台湾も成長していることが強く印象に残りました。

台湾は、暖かく春を思わせるような気候で、快適な日々を過ごすことができるとおりましたが、実際は大変寒くて、ホテルでも暖房を入れたのですが、なかなか暖かくなりませんでした。あとで聞いたら台湾の方は暖房をどこも入れていないということでした。

今日は西村副会長の卓話となっておりますので、最後までご静聴のほどお願い申し上げます、挨拶に代えさせていただきます。



本日のビジター紹介

佐世保南ロータリークラブ

太田 博道様



幹事報告・南部 建君

1. 例会変更

■ハウステンボス佐世保ロータリークラブ

2月1日(火) 18:30～

例会場 夫人同伴夜例会の為

2月8日(火) 休会 定款第6条第1節により

2. 来 信

■国際ロータリー事務総長

2011～2014年度試験的プログラム参加クラブ募集について

- ・衛星クラブ試験的プログラム
- ・法人会員試験的プログラム
- ・準会員試験的プログラム
- ・革新性と柔軟性のあるロータリー・クラブ試験的プログラム

参加申請書提出締切日 2011年4月1日

■ガバナー事務所

- ・米山奨学生の世話クラブとカウンセラーの引き受けについて
- ・2012～2013年度派遣ロータリー財団国際親善奨学生募集について

3. 伝達・通知

特にありません。



今月のお誕生会員



昭和33年1月 1日	本田 実 君
昭和32年1月12日	浅野 訓一君
昭和39年1月23日	瀬戸 浩 君
昭和34年1月28日	崎山 信行君
昭和25年1月30日	竹本 慶三君



結婚記念日

1月 1日	馬場 貴博・恭子 ご夫妻
1月14日	大久保厚司・ゆりえご夫妻



ニコニコボックス

担当：岩政 孝君

田雑 豪裕会長・西村 浩輝副会長・南部 建幹事
産経ニュースネット版の特集という項目に「開発ストーリー」という記事があります。三洋電機の米粒からパンを作る製品を先般ご紹介しましたが、現在は予約受付を中止するほどの売れ行きだそうです。その商品開発秘話など

が載っています。今年4月に会社名が消える企業ですが、企業の意地・開発者の意地が読み取れます。他にも「直角靴下」や「フォグバー」など、「プロジェクトX」を彷彿とさせるような記事が掲載されています。興味のある方はご一読下さい。

副会長 西村 浩輝君

今日は錯覚による交通事故について話をさせていただきます。会員皆様の無事を祈念してニコニコさせていただきます。ありがとうございます。

馬場 貴博君

今更であります、新年1回目の出席です。又1月の結婚記念日にはお花を頂きありがとうございます。

本田 実君・浅野 訓一君・瀬戸 浩君・崎山 信幸君・竹本 慶三君
誕生祝い、ありがとうございます。

川崎 洋一君

変な夢を見ました。南部幹事の代役でクラブの総会に出席し、おまけに司会までしています。会議資料をバッチリ整えて臨んだ会議でしたが、夢の中ですから配った資料が全て消えています。オタオタする自分の横に、スックと立った崎元会員の一言で会議は無事終了しました。夢の中での出来事ですが、崎元会員に感謝しつつニコニコします。

親睦活動委員会一同

2月10日(木)は鶴田明敏君、古賀純男君の古希のお祝いです。全員でお祝いしたいと思いますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

本日の合計	12,000 円
本年度の累計	493,000 円



本日の卓話

錯覚による交通事故について

西村 浩輝 副会長



1. 事故が起きたとき問題になるのが、お互いの運転手の良い悪いの割合が生じてきます。

- ・100%自分が良いときは追突された時
- ・相手車がセンターラインを越え衝突した場合
- ・そして止まっている時、ぶつけられた時などが考えられます。

今日見てもらうのは今年の夏、テレビ番組を録画したものです。センターラインオーバーしたバイクが悪いと思われ

た事故なのですが、交通事故鑑定人の調査結果、真実がわかるものです。



2. 錯覚による交通事故は他にもあります。

- ・コリジョンコース現象 注1
- ・黒い壁といわれるアスファルト道路、コンクリート道路
- ・魔の渋滞エリア
- ・戦車道 注2
があります。

佐世保で私の経験した事でも、何故という事故があります。

- ・俵町五叉路、市役所から春日町へ直進し、俵町の商店街へ延びている道路に見える。
- ・T字路で右折するとき右を見て左方を確認すると思いますが左方を確認が非常に短い時間しか見てないので……。車が止まって見える。

注1. コリジョンコース現象

そのまま進み続ければ衝突するであろう一点に向かって等速直線運動をしている2つの車両や航空機同士が、視界が良好な場合であってもお互いを早期に視認することが著しく困難であるという現象をいう。

・Wikipediaより転載

注2. 戦車道

戦前に戦車製造工場付近に試運転する道路があり、その後幅広い一般道路になった場所で事故が発生したもの。ドライバーの心理として狭い道を運転しているときは周囲に注意を払い徐行するが、そこから極端に広い道にでると解放され自然とスピードを出してしまう。雨霧等で視界が悪くなり距離感を錯覚し前方の障害物に衝突し事故になる。

次回例会 2月3日(木) 12:30~

次回のお献立: 節分弁当

SAA: 浅野 訓一君・四元 清安君/音響: 富永 博美君